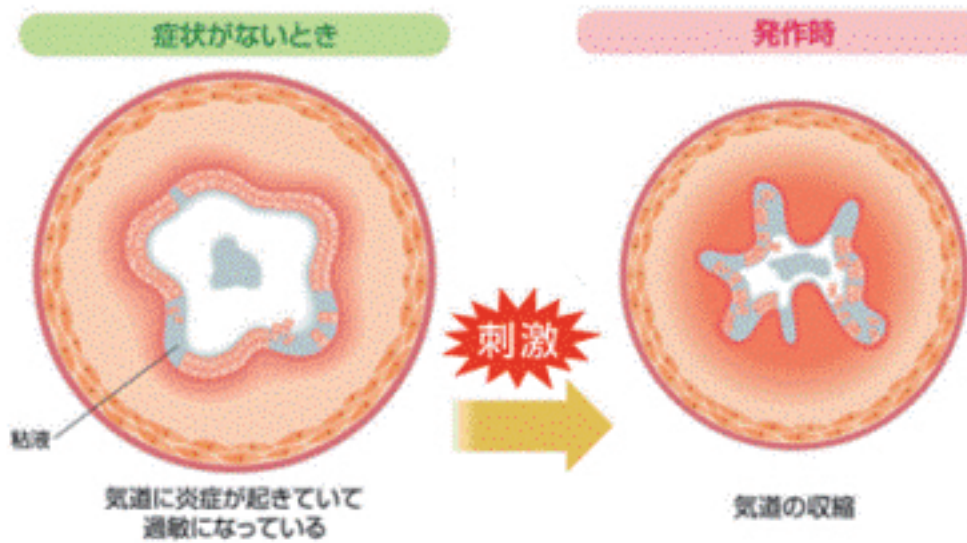


喘息は気道の炎症(火事) 慢性・進行性の疾患です

- 喘息の患者さんの気道（空気の通り道）は、症状がないときでも、ぶすぶすと火がくすぶっている状態です。そのため、少しの刺激でも敏感に反応します。
- 喘息発作は、くすぶっていた火が刺激によって激しく燃えさかってしまう状態として発症します。
- 気道（空気の通り道）がけいれんしてせまくなり、咳や呼吸困難、息切れや息苦しさを感ずります。



- 発作止めの薬は、燃えさかる炎を一時的に小さくするだけで、炎を消したわけではありません。火事をおこしている気道を治療したわけではありません。

▲ 喘息悪化の要因

喘息治療の基本は 炎症(火事)をなおすこと

- 気道の炎症(火事)は**吸入ステロイド薬**で治療します。安全性が高く有効な**吸入ステロイド薬**を**かかりつけ医**で処方してもらってください。この治療で、症状は無くない刺激にも強い健康な気道になります。気道のバリア機能が正常になるために、発作は起こらなくなり、風邪も引きにくくなります。
- 症状がないから、調子が良いから、といて治療を中断してしまうと、炎症の残った気道の壁は厚くなり、空気の通り道が狭くなってしまいます。発作を繰り返し、絶えず息切れを起こすなど、喘息が悪化してしまいます。



吸入ステロイド薬を続ける人

- POINT 1 指示された用量を
- POINT 2 正しい吸入方法で
- POINT 3 毎日吸入する



指示とおの
吸入を続ける



お医者さんと
連携して治療に
取り組む



健康な人と
同じように
暮らせる

- 炎症治療(吸入ステロイド)と
けいれんを鎮める薬の合剤



▲ シムビコート ▲ アドエア

- 吸入ステロイド薬(単剤)
フルタイド・バルミコート
キューバル・オルベスコ
アスマネックス

ゆりのき内科

よくなって吸入ステロイドをやめると...

発作止めの薬が
効かなくなり、やがて...

突然の
大発作

